

# 楽しい体育指導の工夫

小学校  
体育班

**テーマ：工夫しながら、運動を楽しむ児童の育成**  
**実践者：高崎市立北小学校 関原 由香利**  
**単元名：2年 にんじゃあそび**

- 基礎的な運動感覚が身に付くように、跳び箱・マット・平均台などを使って、様々な動きができるサーキット遊びを取り入れた。
- 動きを創る楽しさを味わえるように、毎時間、場を変えて、動きの発明ができるようにした。
- 動きを増やしたり高めたりできるように、発明した動きを練習して発表を行うようにした。



(まとめ)

- ◎個々の能力に応じて場を選択しながらサーキット遊びをすることで、とても意欲的に取り組めた。
- ◎サーキット遊びしたり、発明した動きを練習したりすることで、器械運動につながる基礎的な感覚を身に付けることができた。

**テーマ：めあての達成に向け、楽しく取り組む体育指導の工夫**

**実践者：富岡市立富岡小学校 太刀川 雄一**  
**単元名：3年 マット遊び**

- 児童が楽しく意欲的に活動できるように、いろいろな動きができるマットサーキットを取り入れた。
- 動きの特徴に気付くことができるように、ポイントについて、局面を〈着手まで〉〈回転中〉〈起き上がり〉に焦点化して話し合いを設定した。
- できる動きをより高められるように場の工夫をした。



(まとめ)

- ◎サーキットの中で自分のやりたい動きを決め、その動きを高めたり、できるようにしたりするという学習を取り入れたことで、児童は意欲的に活動できた。
- ◎局面を焦点化して話し合う場を設けたことで、児童は手の着き方や回り方など動きの特徴に気づき、その後の練習で動きを高めることができた。

**テーマ：一人一人が運動技能を高めながら楽しく活動できる指導の工夫**

**実践者：甘楽町立新屋小学校 清水 明弘**  
**単元名：4年 跳び箱運動**

- 個々の技能を高められようするために、スモールステップの場を設定し、選択できるようにした。
- 技の大切なポイントをつかめるように、個人で試行したあとに、集団で思考する時間を設定した。
- 友達に的確なアドバイスが積極的におくれるように、技のうまか棒（ステップカード）を設置した。



(まとめ)

- ◎技の大切なポイントを意識しながら、個々の技能に合った場で練習することで、技能を確実に高めることができた。
- ◎技のうまか棒（ステップカード）を基にアドバイスし合い、友達とかかわり合いながら学習することで、楽しく運動に取り組むことができた。

**テーマ：課題をもち、自ら考え、意欲的に取り組む体育指導の工夫**

**実践者：高崎市立豊岡小学校 中村 敦**  
**単元名：6年 マット運動**

- 苦手な児童も意欲的に活動できるように、シンクロマットを取り入れた。
- シンクロマットで個と集団の技能を高められるように、部分練習の場と通し練習の場を設定した。
- 自分の課題や技のポイントを視覚的にもわかるように、ICTの活用をした。
- 友達とのかかわりをもちながら技能を高められるように、兄弟グループで教え合う活動を取り入れた。



(まとめ)

- ◎シンクロマットを行うことで、マット運動が苦手な児童も作品を創ることを楽しみ、意欲的に活動したことで、個々の技能も高まった。
- ◎ICTを活用し、動きを客観的にとらえられるようにしたことで、自分や班の課題を明確にとらえることができ、効果的に追求することができた。